

# 直接協議スキームの実務に関する検討状況

平成28年8月24日

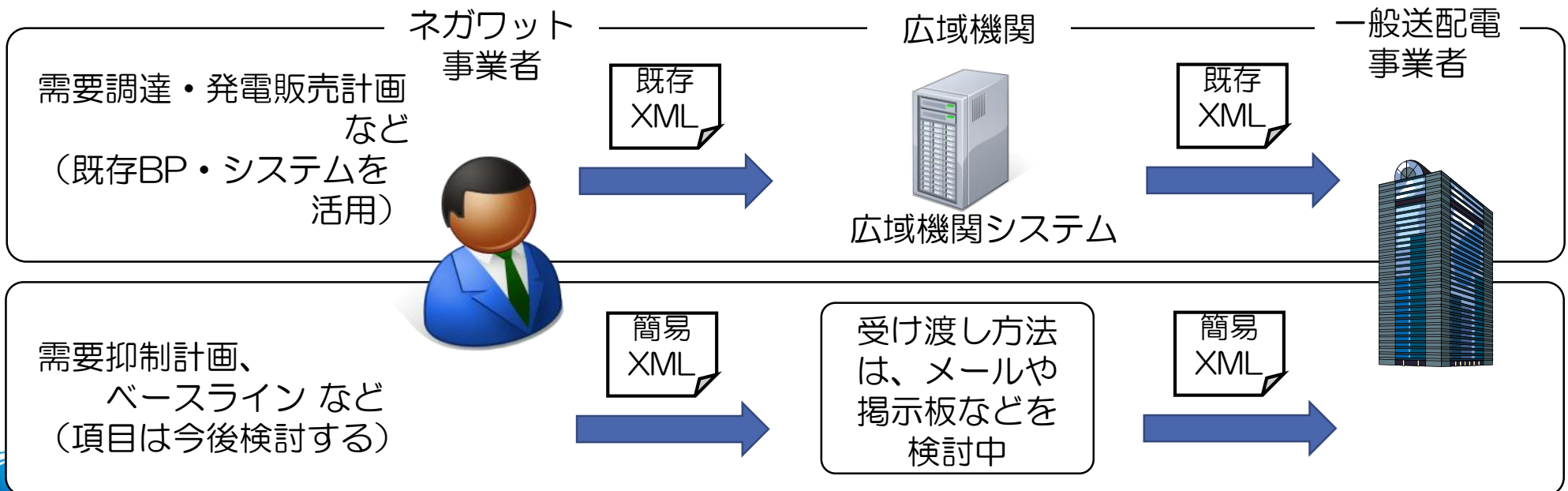
ネガワット取引に関する実務者会議 事務局

- 暫定運用は既存のBP・システムと新規の簡易XMLとの組み合わせにより、必要とする計画を広域機関へ提出いただく方針を考えているが、いかがか。

来年4月の直接協議スキーム開始までに広域機関システム改修は困難な状況。

〔暫定運用のイメージ〕

- ✓ ネガワット事業者は、需要調達・発電販売計画などを、現在広域機関で運用しているシステムを用いて、広域機関へ提出する。
- ✓ ネガワット取引のため追加で必要となる需要抑制計画やベースラインなど、既存帳票にない項目については、別の帳票を準備し広域機関へ提出する。



(取引の流れ) 需要家Aが20抑制しネガワット事業者が小売電気事業者Bに販売  
簡易XMLのやり取りは電子メールもしくは掲示板等を検討中、その他は広域機関システムを利用。

DR前		DR発動	
W6_発電販売計画		変更なし	
発電計画			
-	100		
販売計画			
小売A	100		

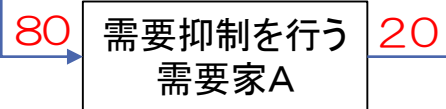
DR前		DR発動	
W6_需要調達計画		W6_需要調達計画	
需要計画		需要計画	
-	200	-	220
調達計画		調達計画	
発電D	200	発電D	200
		アグX	20



DR前		DR発動	
W6_需要調達計画		W6_需要調達計画	
需要計画		需要計画	
-	100	-	80
調達計画		調達計画	
発電C	100	発電C	100
		販売計画	
		アグX	20

簡易XML

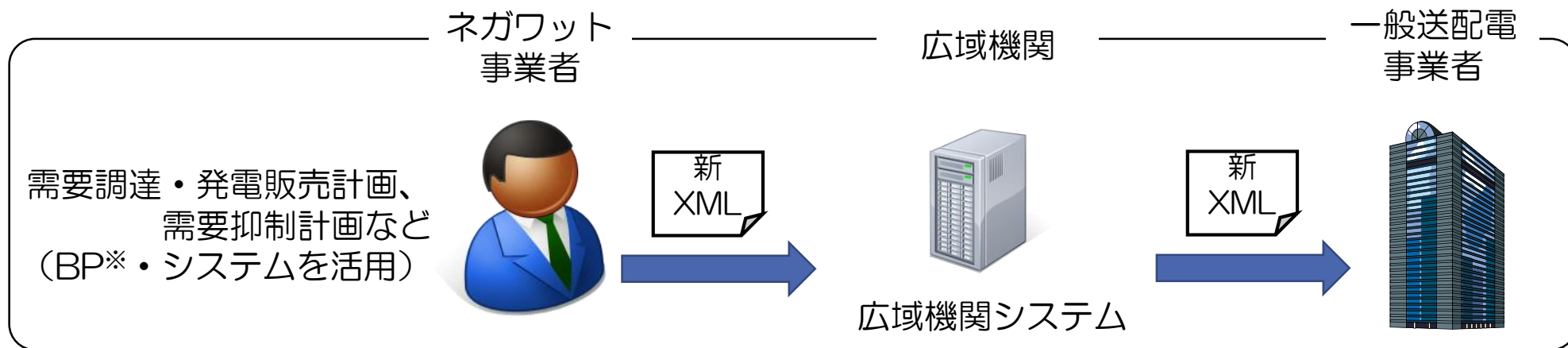
DR前		DR発動	
需要抑制計画		需要抑制計画	
ベースライン		ベースライン	
需要家A	100	需要家A	100
抑制計画		抑制計画	
需要家A	0	需要家A	20
W6_需要調達計画		W6_需要調達計画	
需要計画		需要計画	
-	0	-	0
調達計画		調達計画	
		小売A	20
販売計画		販売計画	
		小売B	20



来年4月の取引開始に向けては、暫定運用が必要な状況であるが、それ以降は、各事業者の利便性やシステムの準備期間を考慮したうえで、ネガワット取引が円滑に行えるよう対応していきたい。

## 〔本格運用のイメージ〕

- ✓ 各事業者が需要調達・発電販売計画、需要抑制計画など必要な計画等がまとめて処理できるよう、必要な規格、システムの整備を行う。



※ BP（ビジネスプロトコル）については、広域機関ホームページに掲載の“発電計画等受領業務 EDI共通規格”、“発電計画等受領業務 ビジネスプロトコル標準”参照